

この活動報告は、いつも応援いただいている後援会の皆さんに、定期的な町政報告の機会をつくりたいという思いから発行しています。今回を創刊号（Vol.0）とし、今後年2回程度の発行を目指して、後援会員の皆さんに小布施町や大宮とおるの“今”をお伝えできるよう、努めてまいります。

ご挨拶

小さくとも、世界のなかで光る小布施町へ

2024年の秋ごろから始まった大宮町政への動きに対して皆さん
が全力をかけて大宮透さんを応援していただきましたこと、改めて
心より感謝申し上げます。

12月に大宮さんが小布施町長に選ばれました。それからまだ半年ですが、町内はもとより、町外在住の方々、また東京を始めとした小布施応援団の方々より誠にありがたいことに高い評価、また、熱い応援をいただいております。

実は小布施には重要な案件が山積みです。その一つ一つを丁寧に、誠実に取り組んでいる町長の姿を見て本当に嬉しく思います。

“グローバル化が進む日本の社会の中で小布施モデルの創造・育成ができたら嬉しいです。そして「全世界の中で小さな小さな光る町小布施」へこれから発展していくのではないかと期待しています。今後も是非熱い声援を送って下さるようお願い申し上げます。



後援会長 内坂 敏

小布施町長としての半年振り返って

昨年12月の小布施町長選にて、3831票の得票をいただき、町民の皆さんの御付託のもと小布施町長に選出いただきながら早いもので半年以上の月日が経ちました。

選挙終了後の半年間を振り返ってみると、町内各所でのご挨拶や意見交換、国や関連機関との調整、町役場の組織づくりや重要政策の意思決定など、町長としての役目の幅広さと責任の重さを感じています。

それでも、町長という立場をいただき、町の10年、20年先を見据えた重要政策を様々な立場の皆さんと議論し、意思決定できることは、大きなやりがいであります。充実感のある毎日です。何よりも、様々な場面で、後援会の皆さんと再会したり近況を話せることが本当に嬉しく、日々の活力になっています。この場をお借りして心より御礼申し上げます。この後援会通信を通じて、少しでも町政の様子をお伝えできれば幸いです！

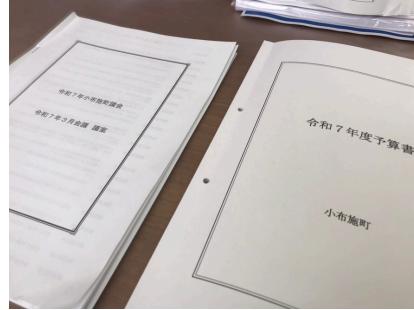


小布施町長 大宮透



1月22日 初登庁

多くの支援者の皆様に迎えていただき、町役場庁舎に初登庁しました。初登庁後の職員訓示では、「明るい町政、身近な町政の実現に向けて、まずは挨拶や丁寧な案内、職員同士のコミュニケーションを活性化することから始めよう」と話しました。



2月26日 新年度予算案発表

着任後すぐに新年度の予算編成作業へ。公約の一つである「中学校給食費の段階的無償化」に向け、中学生一人あたり2万円の補助増額を行いました。



3月8・9日 住民参加劇に出演

3月議会の合間をぬって、7年目を迎える小布施町文化事業活性化委員会主催の住民参加劇に参加しました。高井鴻山の弟太三郎役を演じました。



4月 各自治会の春祭り巡り

たくさんの自治会や各種団体の祭事にご招待いただきました。各自治会で行われている獅子や祭事が本当に個性豊かで、地域に眠る宝物を再発見した気持ちになりました。



4月16日 初めての定例記者会見

「明るい町政・身近な町政」の実現に向け、新年度から月1回開催することとし、4月16日はその初回でした。6月以降は原則毎月第1水曜日の午前10時から開催し、内容は全てホームページで公開しています。



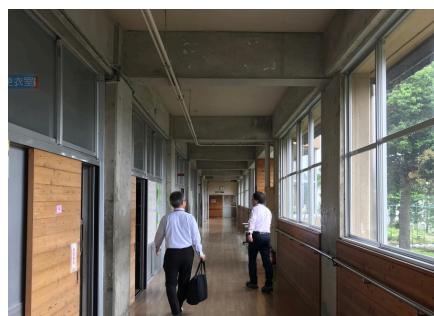
5月20日 野沢温泉村長と意見交換

野沢温泉村長と意見交換を行いました。冬場の誘客が課題の小布施町。今後も近隣市町村長との結びつきを大切にし、よりよい地域間連携のあり方を模索していきます。



5月21日 突風と電被害の発生

この日、強風により小布施総合公園のポプラの木が倒木するなど、被害が発生しました。私にとっても大好きな風景でしたが、木の状態を改めて調査した結果、大変残念ながらポプラ並木の伐採を決断するに至りました。今後は、新しい木々の植樹に取り組んでいきます。



6月10日 小中学校校長先生との意見交換会の開催

教育長同席のもと、小中学校の校長先生との意見交換会を実施。今後も定期的に意見交換の場を作りながら、児童生徒に寄り添った、特色ある学校運営が実現するよう、教育委員会とともに取り組んでいきます。



6月28日 フランスナント市の「小布施 北斎の傑作展」へ

北斎館50周年を来年に控え、フランスナント市で小布施の北斎をテーマにした大規模展が開催。私もご招待いただき、町をPRしてきました。海外における北斎の認知度・その可能性に勇気づけられました。

活動報告

取り組んでいる政策について

公約に掲げていた政策の実現やよりよい町政の実現に向け、各種取組を進めています。一部ではあります、ご報告します。

● 「農業・農村の活性化」にむけた具体策を模索しています

町長選挙の公約「3つの柱」で一丁目一番地に位置付けていた「農業・農村の活性化」については、土地改良区の畑灌施設の電磁弁化（自動化）に係る補助増額を行いましたが、現時点で具体的な事業立案が十分にできていない状況にあります。2月から町内の各種農業者団体の皆さんと意見交換を重ね、町役場のなかでも、農業振興に係る新たな事業づくりに向けて検討を深めています。

特にリンゴや桃、米などの品種については、今後5年で加速度的に耕作放棄地が拡大していく懸念を持っており、この品目栽培が多い地域の農地の在り方について優先的に検討していきたいと考えています。来年度当初の予算に向けて、具体的な事業を一つでも形にしてまいります。



▲渇水対策で延徳田んぼに設置された仮設ポンプ。温暖化の影響の一つと考えています。

● 中学校の給食費の段階的無償化に着手（中学生一人当たり2万円の補助増額を実現）

義務教育課程のなかでも、特に教育関係支出が増加する中学生を持つご家庭の負担軽減のため、選挙公約として「中学校の給食費の段階的無償化」を掲げています。令和7年度からは、中学生一人当たり2万円の補助増額を実現し、負担軽減に着実に取り組んでいます。

● 保育園の早期建て替えや特色ある保育環境づくりに向けた検討を進めています

町では、つすみ保育園の老朽化と早期建て替えの必要性を踏まえ、令和6年度に有識者の方や保護者代表の方々に委員になっていただきながら検討委員会を設置。私も町長就任後、検討会議や住民説明会にできる限り出席させていただき、教育委員会とともに建て替えに関する議論を進めています。

現在は保育園の建て替えの検討に加え、特色ある保育サービスを提供する民間事業者の参入可能性を模索しています。保護者の様々な保育ニーズに応えられる町となるよう、方針を今年度中にまとめる予定です。

● 不妊治療の助成金を倍増、新たに不育症治療への補助を開始

出産を望みつつも不妊や不育症で妊娠・出産に困難を抱える方を物心両面から支援するため、今年度より、これまで10万円が上限だった不妊治療への補助金上限を20万円に引き上げました。また、不育症治療を行う方への補助を新たに新設しました。子育て支援の更なる拡充に向けて、できるところから取り組んでいきます。

● 須坂消防署小布施分署の建替えについて、一部設計内容を見直しました

建物の老朽化対策や、時代に合った消防・救急機能強化の必要性から、令和6年度より須坂消防署小布施分署の建替えに向けて検討を開始。しかし、小布施分署の建設によって小布施町役場から北信五岳への眺望が一部さえぎられてしまうことや、周辺環境との調和への懸念の声が上がっており、議会からも付帯決議が出されていました。

町長就任以降、具体的にどのような見直しができるか検討した結果、土地の取得経緯や国の有利な財源確保を進めるためには計画の抜本的な見直しは難しいものの、全体の設計を見直すなかで、建物高を当初より約3.5m下げるとともに、建物デザインについても小布施町らしい土壁風の色合いや屋根瓦を大切にした設計案に修正しました。令和8年度末の移転に向けて工事を進めていく予定です。



▲見直し後のデザイン。建物高を下げ、小布施らしい和風建築に大幅に変更しました。

寄稿

私が見た大宮町政

このコーナーでは、後援会役員や会員の皆さんから寄せられた大宮町政についての期待や激励、感想について紹介します。今回お二人から寄稿いただきました。

● 大宮町長への期待

大宮透小布施新町長が誕生して6か月が過ぎようとしています。その中で、町長は町民行事やイベントに積極的に参加・交流されている姿がか今見られ、若いがなかなか頼もしい町長であると感心しております。

変化の激しい時代、難しい時代であっても、最後は人と人の繋がりであると思います。小布施だけ良ければではなく、須高地域との連携を図り、地方の活性化を推し進めて下さい。

最後に、大宮町長の親しみやすさと明るさで、町民の皆さんと共に創る新たな町政の実現に向けて前進して頂きたいと思います。大いに期待しています。



(牧良一さん／六川)

● 地域に足しげく通う姿に、これからを期待

大宮町長へは、小布施町の良き文化の継承と新たな町づくりへの改革へ期待しています。広い見識・経験と幅広い人脈に、小布施町の今後の成長をリード出来る人と信じスタートし、約半年が過ぎました。実際、多くの町民方々から、行動力と発信力の実感が伝わり、大いに評価しているとの声を聞いております。

特に、公約の「農業・農村部の活性化」では、街中と農村部とのwin-win関係を期待しています。大宮町長の発案から矢島りんご農家との意見交換会が始まりました。りんご農家の抱える課題に真摯に耳を傾けられ、互いに「るべき姿」を見いだすべく議論が進められています。

大宮町長には、是非「10年先の小布施町ビジョン」を作成・発表頂き、年間を通して文化・商工業・農業の活性化を、町民・職員との一体化した実現に向けた議論を続け、「未来ある小布施町」へ向けてリードして頂きたくお願ひ致します。



(須山寛さん／矢島)

【編集後記（事務局より）】

最後まで読んでいただきありがとうございました。大宮町政の誕生からあっという間に半年。選挙の熱気はまだまだ続いている、民間事業者の皆様の中からも、様々な新しい事業や活動が生まれています。町の雰囲気がすごくよくなっていることを感じています。

今回の創刊号を皮切りに、半年に1度程度のペースで、大宮町政の様子、後援会の活動の様子を発信していきたいと思います。今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします！

このニュースレターの内容について、また、大宮町長に対して、何かご意見やご感想、ご提案などありましたら、以下のメールアドレスまでお気軽にご連絡ください（現在透翔会事務所としての専用の電話番号はありませんので、ご理解のほどよろしくお願ひします）。

問い合わせ先メールアドレス： info@omiyatoru.jp （大宮とおる後援会事務局宛）

Instagramでも
活動報告しています！



Instagram

大宮とおる後援会 透翔会
公式ホームページ
<https://omiyatoru.jp/>



Website